

# 大井川環境整備 計画段階評価（案）

平成２８年１２月

国土交通省 中部地方整備局

# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 1. 流域及び河川の概要

### (1) 流域の概要

- 大井川は、静岡県の中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳(標高3,189m)に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け、その後、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km<sup>2</sup>の一級河川である。

○水源	: 間ノ岳(標高3,189m)	○想定氾濫区域面積	: 131km <sup>2</sup>
○流域面積	: 1,280km <sup>2</sup>	○想定氾濫区域内人口	: 約30万人
○幹川流路延長	: 168km	○想定氾濫区域内資産	: 約4.4兆円
○流域内市町村	: 4市2町		
○流域内人口	: 約9万人		

### 上流域

#### 【源流～大井川ダム】

豊かな自然環境や、河川景観に恵まれている



①井川ダム



②大井川上流

### 中流域

#### 【大井川ダム～扇頂部】

河岸段丘が形成され、蛇行地形となっている



③千頭付近



④鶴山の七曲がり

### 下流域

#### 【扇頂部～河口】

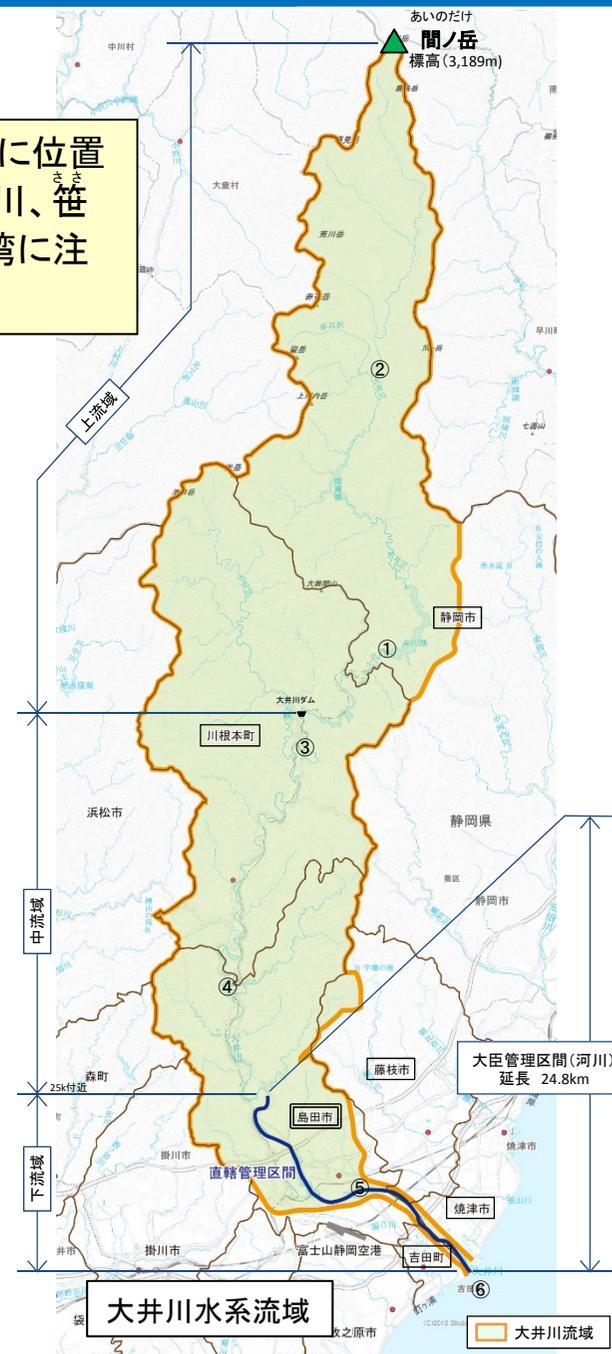
扇状地が広がり、地域の社会・経済・文化の基盤をなしている



⑤蓬萊橋付近



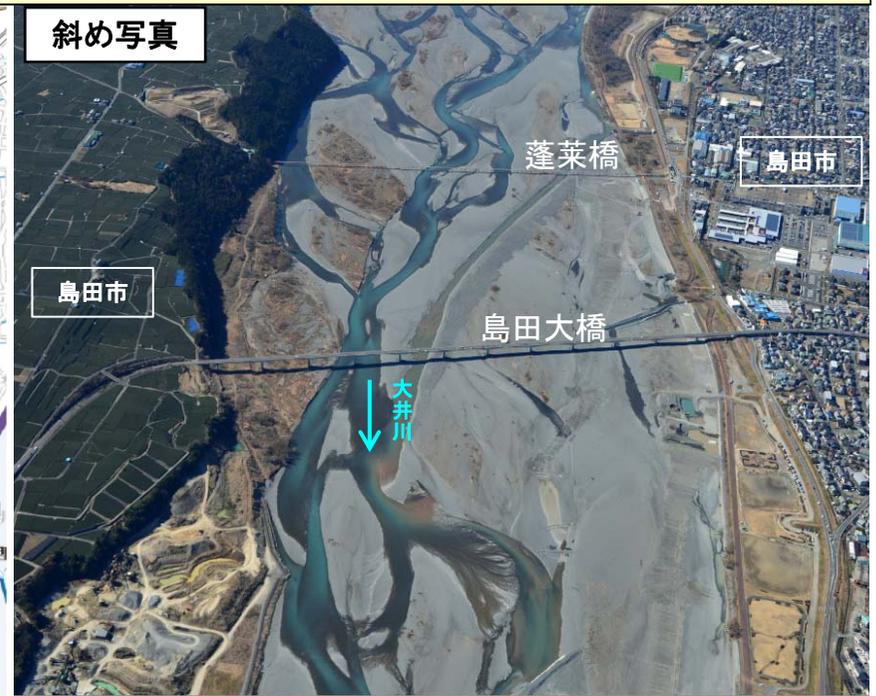
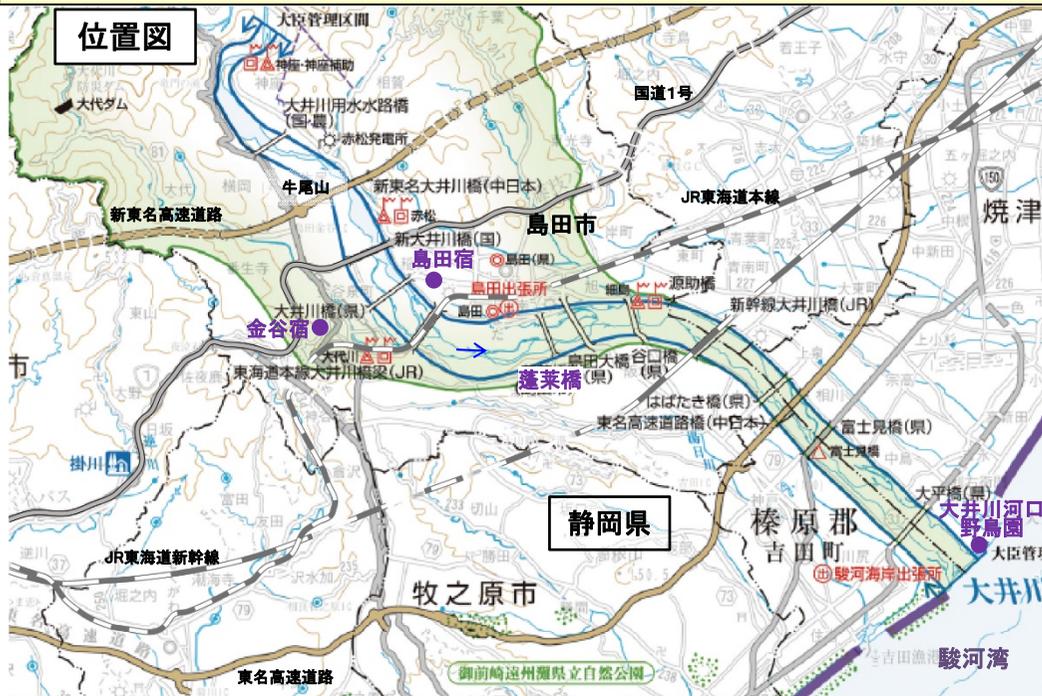
⑥大井川下流



# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (2)河川の概要

- 大井川沿川は、江戸時代より新田開発が行われ、川越し制度により左岸の島田宿、および右岸の金谷宿（現在は島田市）が東海道の宿場町として発達し、経済・文化が栄えた。
- 下流地域に広がる扇状地は、東名高速、新東名高速、国道一号、東海道新幹線、東海道本線などわが国の根幹をなす交通の要となっている。
- 大井川の河床勾配は下流部においても1/250程度と急であり、河川中流域の様相のまま河口に至り、河口部においても海水の遡上は見られない。
- 下流部の河川の様相は、砂礫河原に複列の網状の流路が形成され、砂州上にはコゴメヤナギ等の河畔林が繁茂し、砂礫河原に続く水辺には、サギ類、チドリ類などの鳥類が、瀬や淵にはアユやシマドジョウ等の魚類が、ワンド等にはトノサマガエル等の両生類が生息する。
- 河口部左岸には「大井川河口野鳥園」があり、コアジサシの繁殖地、シギ類やチドリ類の渡りの中継地となっている。
- 直轄管理区間の堤防整備率は約95%であり、蓬萊橋周辺においては完成断面に達している（平成27年3月末現在）。



# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (3) 河川空間の利活用状況

- 大井川の河川空間は周辺自治体の社会的要請に応え、公園・グラウンド等の施設が整備されており流域内外の多くの人々に利用されている。
- 平成21年度の年間利用者数は約315万人(「河川水辺の国勢調査」推計値)となっており、高水敷におけるスポーツ利用が8割を占めているのが特徴的である。
- 人々の利活用のための環境整備としては、グラウンド等のほか、河口付近には河川公園と野鳥公園が一体となった「大井川河口野鳥園」が整備され、野鳥の営巣・休憩・採餌状況を観察することができる。
- 多目的河川敷道路は「リバティー」の愛称で親しまれ、平成21年度よりここを舞台に開催されている「しまだ大井川マラソン」は、全国から多数の応募があり、地域のPRとなっているほか、宿泊や飲食などで高い経済効果をもたらしている。
- 唄にも謳われた旧東海道の難所として名高い大井川は、川止めによって栄えた宿場町のまちなみも残り、河川敷に整備された「川越し広場」や、世界一の木造歩道橋である「蓬莱橋」など、市民の生活に溶け込んだ歴史的資源も多い。





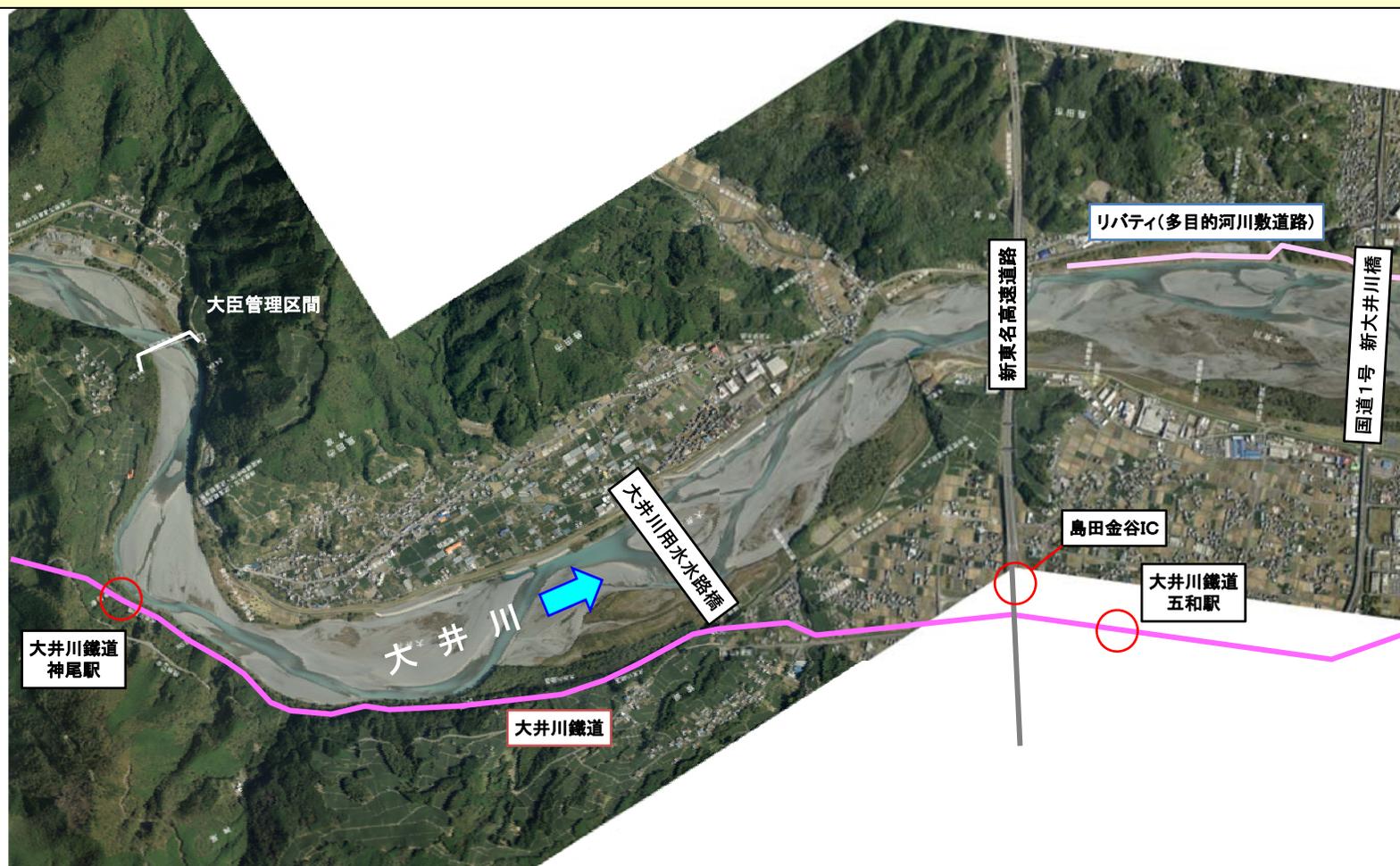
# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (2) 上流部の状況

- 高水敷がほとんどないが、山間部で紅葉など景色を楽しむ人や釣り等で利用されている。

【主な関連施設】 大井川鐵道(SL) など

【アクセス性】 <道路> 新東名高速道路 島田金谷IC 850m、 国道1号  
<鉄道> 大井川鐵道 五和駅 1,600m など



# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (3) 中流部の状況

- 旧市街地で、歴史的施設や運動公園等があり、観光、歴史探訪、スポーツ等で利用されている。
- また、「島田市大井川ミズベリング協議会」が設立され、蓬莱橋のライトアップや民間事業者による河川利用を目的とした「都市・地域再生等利用区域」の指定に向けた検討など、水辺利用の促進施策が進められている。

【主な関連施設】 蓬莱橋(世界一長い木造歩道橋)、川越し遺跡、横井運動場公園、島田球場 など

【アクセス性】<道路> 国道1号

<鉄道> JR東海道本線 島田駅 800m、大井川鐵道 新金谷駅 650m

<空港> 富士山静岡空港 5,900m など



# 大井川環境整備【計画段階評価】

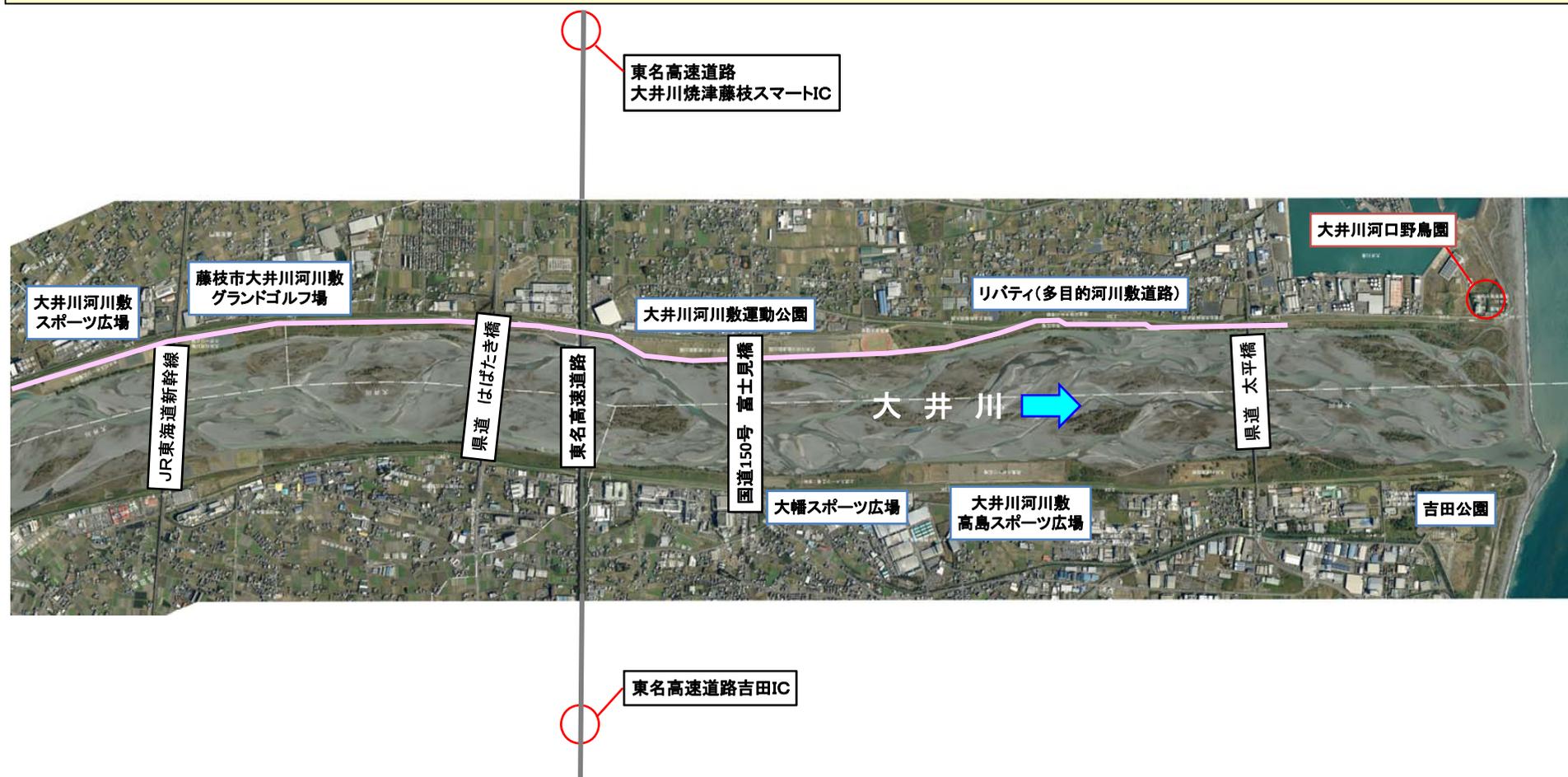
## (4) 下流部の状況

- 高水敷に運動公園等グラウンドが多く整備されており、スポーツや市民の憩いの場所として利用されている。

【主な関連施設】 大井川河口野鳥園、静岡県営吉田公園、大井川河川敷スポーツ広場 など

【アクセス性】 <道路> 東名高速道路 吉田IC 1,200m、国道150号

<鉄道> JR東海道本線 藤枝駅 4,000m など

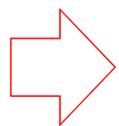


# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 2. 課題の把握、原因の分析

### (1) 大井川沿川の状況

	上流部	中流部	下流部
河川・沿川の 利用状況	<p>高水敷がほとんどないが、山間部で紅葉など景色を楽しむ人や釣り等で利用されている。</p> <p>【主な関連施設】 ・大井川鐵道(SL) など</p>	<p>旧市街地で、歴史的施設や運動公園等があり、観光、歴史探訪、スポーツ等で利用されている。</p> <p>また、「島田市大井川ミズベリング協議会」が設立され、蓬萊橋のライトアップや民間事業者による河川利用を目的とした「都市・地域再生等利用区域」の指定に向けた検討など、水辺利用の促進施策が進められている。</p> <p>【主な関連施設】 ・蓬萊橋(世界一長い木造歩道橋) ・川越し遺跡 ・横井運動場公園、島田球場 など</p>	<p>高水敷に運動公園等グラウンドが多く整備されており、スポーツや市民の憩いの場所として利用されている。</p> <p>【主な関連施設】 ・大井川河口野鳥園 ・静岡県営吉田公園 ・大井川河川敷スポーツ広場 など</p>
アクセス性 ※距離は大井川 までの距離	<p>&lt;道路&gt; ・新東名高速道路 島田金谷IC 850m</p> <p>・国道1号</p> <p>&lt;鉄道&gt; ・大井川鐵道 五和駅 1,600m など</p>	<p>&lt;道路&gt; ・国道1号</p> <p>&lt;鉄道&gt; ・JR東海道本線 島田駅 800m ・大井川鐵道 新金谷駅 650m</p> <p>&lt;空港&gt; ・富士山静岡空港 5,900m など</p>	<p>&lt;道路&gt; ・東名高速道路 吉田IC 1,200m</p> <p>・国道150号</p> <p>&lt;鉄道&gt; ・JR東海道本線 藤枝駅 4,000m など</p>
沿川市町村の 取り組み	<p>沿川市町において、右記のような取組は行われていない。</p>	<p>島田市において、蓬萊橋を中心として、水辺とまちづくりが融合したより良い河川空間の形成を目指した「かわまちづくり計画」の策定に向けた検討が進められている。</p>	<p>沿川市町において、左記のような取組は行われていない。</p>



- ・大井川の中流部及び下流部は、高水敷利用や観光利用等が活発に行われており、その中でも 特に中流部においては「島田市大井川ミズベリング協議会」が設立され、水辺利用の促進に関して地域の熱意が高まっているところ。
- ・現在、島田市において、水辺とまちづくりが融合したよりよい河川空間を目指した「かわまちづくり計画」の策定に向けた検討が進められていることから大井川中流部に焦点を当てて評価を実施する。

# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (3) 中流部の概要

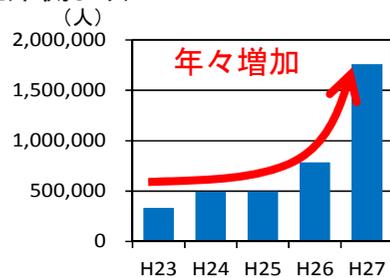
- 中流部では、「島田市大井川ミズベリング協議会」を中心として、観光名所である蓬莱橋、川越し遺跡を中心とした水辺利用の促進や、来訪者の充実感向上に向けたハード整備・ソフト整備を早急に進めるために動き出している。
- 当該地区は島田市中心部で東海道本線・島田駅に近く、市のマスタープランでも「大井川を活かした駅南交流のまち」と位置づけ、大井川の歴史的資源を活かしたまちづくりを推進するとしている。
- すでに蓬莱橋周辺でのイベントや、地元物産の試験物販等を実施している。
- 島田市の熱意も強く、観光名所として知名度が急上昇してきた蓬莱橋周辺の整備などサービス向上が急がれる。



蓬莱橋(左岸側より)



蓬莱橋 渡橋者数  
\* 静岡県島田市より



静岡県内の外国人宿泊人数  
\* 静岡県より



ぼんぼり祭り



ギネス認定書を模した碑



さわやかウォーキング

### 【蓬莱橋の概要】

- 島田市の観光スポットとして注目され、県内外はもとより国外からも多くの方が訪れている。
- 明治12年に建てられた木造歩道橋であり、国内でも数少ない賃取橋(大人1回100円)。  
ちんとりばし
- 長い木(長生き)の897.4m(厄無し)の語呂合わせで縁起のいい橋として人気。
- 平成9年には「世界一の長さを誇る木造歩道橋」としてギネスブックに認定。
- 映画やテレビのロケ地としても利用され、映画「男はつらいよ」やNHKドラマ「とと姉ちゃん」などに登場。
- 地域交流や歴史、文化の継承などのための「ぼんぼり祭り」(5月)やJRさわやかウォーキングなどのイベントが開催され、多くの人で賑わう。
- 蓬莱橋を渡る際には、平成25年度に世界文化遺産に登録された「富士山」が展望出来る。
- 観光バスツアーのコースに組み込まれている他、近年その名が広まるにつれ観光客が増加しており、平成27年は約12万人が渡橋。

# 大井川環境整備【計画段階評価】

## (4) 課題と原因

- 蓬莱橋は年間約12万人が訪れる観光スポットとなっているが、観光客が休憩するような利便施設が十分でない。
- 既に全国的に知名度は高いものの、物産等を提供する施設が無く、一時的な立寄り場所・通過地点となっている。
- 河川敷へ降りる階段やスロープはあるが傾斜が急であり、快適な利用のためには安全性の向上が必要である。
- 高水敷の広場は、一部以外は草が生い茂っており、イベント等で使用するためのまとまったオープンスペースが不足している。

階段、スロープの現状(傾斜が急)



既設トイレの現状(数が少ない)



番小屋前の状況(休憩施設等の不足)



広場(高水敷)の現状(草等が繁茂)



広場(高水敷)の現状(スペースが狭い)



水際部の状況(護岸の傾斜が急であり、一部がカゴで安全でない)



# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 3. 政策目標の明確化、具体的な達成目標の設定

### (1) 整備に向けたとりくみ

- 「かわまちづくり」支援制度を活用し、様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者が連携し、水辺の整備・利用に係る取り組みを支援する。
- 河川管理者の支援は基盤整備、占用許可準則の緩和など。島田市はサービス施設など上物整備、観光協会や地元NPO等によるロケ活動支援やガイドなどのサービスの提供を計画。
- 島田市は、「総合計画(後期基本計画)(H26.3)」で観光の振興をうたっており、ミズベリングの取り組みを始めるなど、大井川、蓬萊橋を活用した「かわまちづくり」の具体化を進めている。

### (2) 期待される効果

- 蓬萊橋を活用した一層の観光振興が図られるとともに、賑わいのある水辺空間の創出を図ることによる川と人とのかわりなど、地域の活性化への効果が期待される。
- 魅力ある空間の創出によりリピーターが多くなることが考えられ、持続性のある地域づくりが形成される。
- サービス施設の充実により、国内はもとより国外からの観光客の増加が期待され、滞在期間が長くなることで観光による経済効果も増加する。
- 蓬萊橋周辺に多数存在する観光スポットと連携することで、大井川全体での地域活性化にも繋がる。

### (3) 政策目標

- まちづくりと一体となった河川空間を創出し、より多くの賑わいをもたらすとともに地域活性化に貢献する。
- 蓬萊橋右岸も含め川越し遺跡周辺までをとりこんだ一帯を、歴史的資源を活かしたネットワーク整備を行う。

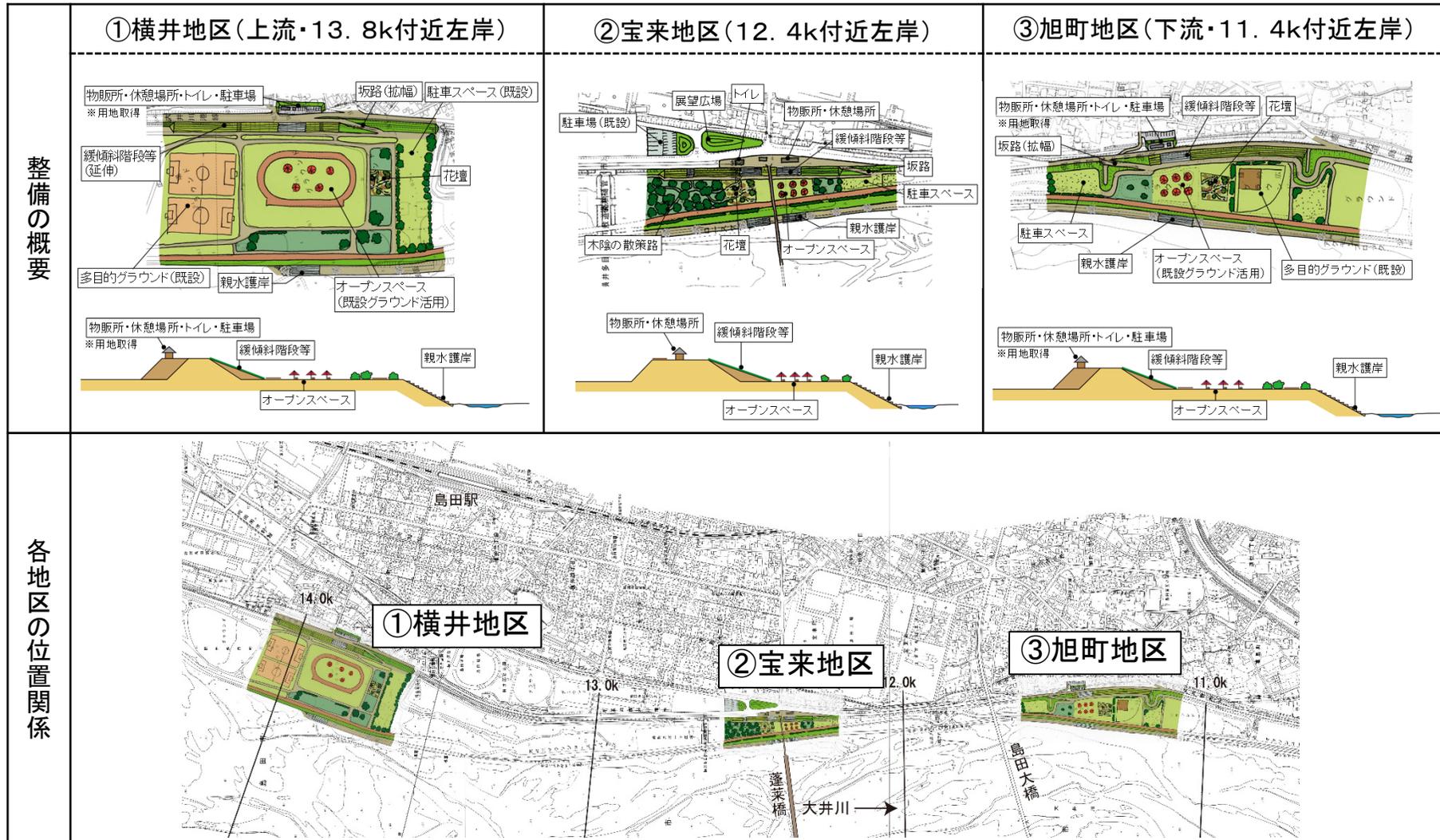
### (4) 具体的な達成目標

- 「島田市総合計画(後期基本計画)(H26.3)」では年間観光交流人口を平成24年の244.5万人から概ね5年で300万人に増加する(約123%)ことを目標としている。
- 宝来地区においては、観光客を含む利用者数を島田市の目標と同程度増加させることを目標とする。

# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 4. 複数案の提示、比較、評価

- 蓬萊橋周辺でのかわとまちが融合した環境整備の検討にあたり、当該エリアの課題を解消するための対策案として、蓬萊橋付近の高水敷等を整備・活用する案、近隣(上流、下流)の既存グラウンド部等を活用する案を抽出し、比較した。



# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 4. 複数案の提示、比較、評価

比較案	①横井地区(上流・13.8k付近左岸)	②宝来地区(12.4k付近左岸)	③旭町地区(下流・11.4k付近左岸)	
対象箇所の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓬萊橋から、約1.5km上流</li> <li>高水敷に陸上トラックとフィールド、サッカー場などが整備されており、現状のスポーツ利用は多い</li> <li>オープンスペースの整備に伴って、グラウンドの機能を一部変更する必要がある</li> <li>JR島田駅から、約1.0km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓬萊橋は歴史的土壌改良施設として県内外から観光客が訪れる施設であり、国外からの観光客も多い</li> <li>世界一の長さを誇る木道歩道橋としてギネス社に認定されており、その歴史的景観は映画やドラマのロケ地としても利用されるなど、有名な施設である</li> <li>JR島田駅から、約1.5km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓬萊橋から、約1.0km下流</li> <li>高水敷に野球場、グラウンド、花壇等が整備されており、現状のスポーツ利用は多い</li> <li>オープンスペースの整備に伴って、グラウンドの機能を一部変更する必要がある</li> <li>JR島田駅から、約2.5km</li> </ul>	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>物販所・休憩場所(新規用地取得)</li> <li>駐車場(既設)、トイレ</li> <li>オープンスペース(既存グラウンド活用)</li> <li>緩傾斜階段等(延伸)、親水護岸</li> <li>既設坂路の拡幅、スロープ</li> <li>散策路、花壇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物販所・休憩場所</li> <li>駐車場(既設)、トイレ(既設)の充実</li> <li>オープンスペース</li> <li>緩傾斜階段等、親水護岸</li> <li>坂路・スロープ</li> <li>木陰の散策路、花壇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物販所・休憩場所(新規用地取得)</li> <li>駐車場(既設)、トイレ</li> <li>オープンスペース(既存グラウンド活用)</li> <li>緩傾斜階段等、親水護岸</li> <li>既設坂路の拡幅、スロープ</li> <li>散策路、花壇</li> </ul>	
評価軸	アクセス性	観光客の多くはバス等で来訪しているため駐車スペースの確保によりアクセス性は担保される。島田駅から徒歩約15分。	観光客の多くはバス等で来訪しているため駐車スペースの確保によりアクセス性は担保される。島田駅から徒歩約25分。	観光客の多くはバス等で来訪しているため駐車スペースの確保によりアクセス性は担保される。島田駅から徒歩約40分。
	観光機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利施設・物販施設等が整備されることにより観光機能が向上する。</li> <li>イベント等を実施するオープンスペースが確保される。</li> <li>物販所・休憩場所・トイレ等の便利施設から高水敷オープンスペースへの移動は、堤防天端道路を横断する必要があり、利便性は良好とは言えない</li> <li>階段やスロープ等が設置されることで安全性が向上し観光機能が向上する。</li> <li>観光の中心である「蓬萊橋」まで徒歩で20分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利施設・物販施設等が整備されることにより観光機能が向上する。</li> <li>イベント等を実施するオープンスペースが確保される。</li> <li>物販所・休憩場所・トイレ等の便利施設と高水敷オープンスペースは一体的な利活用が可能で、利用者の利便性は大きく向上する</li> <li>階段やスロープ等が設置されることで安全性が向上し観光機能が向上する。</li> <li>観光の中心である「蓬萊橋」の近傍で観光客の利便性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利施設・物販施設等が整備されることにより観光機能が向上する。</li> <li>イベント等を実施するオープンスペースが確保される。</li> <li>物販所・休憩場所・トイレ等の便利施設から高水敷オープンスペースへの移動は、堤防天端道路を横断する必要があり、利便性は良好とは言えない</li> <li>階段やスロープ等が設置されることで安全性が向上し観光機能が向上する。</li> <li>観光の中心である「蓬萊橋」まで徒歩で15分。</li> </ul>
	実現性・即効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地側の民地において調整が必要</li> <li>現状の高水敷利用形態を一部変更する必要がある調整が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川区域内で完結し実現性が高く、即効性が期待できる</li> <li>地域の関連団体による取組みが進められるなど、機運が高まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地側の民地において調整が必要</li> <li>現状の高水敷利用形態を一部変更する必要がある調整が必要</li> </ul>
	経済性(コスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷の整正は不要となるが、市街地側で新たな用地取得と移転補償が必要である</li> <li>完成までに要する費用 約6.8億円</li> <li>維持管理に要する費用 約3.3億円(50年間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷整正が必要であるが、市街地側での新たな用地取得は不要である</li> <li>完成までに要する費用 約6.1億円</li> <li>維持管理に要する費用 約3.1億円(50年間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷の整正は不要となるが、市街地側で新たな用地取得と移転補償が必要である</li> <li>完成までに要する費用 約7.4億円</li> <li>維持管理に要する費用 約2.0億円(50年間)</li> </ul>
	持続性	適切な維持管理により持続可能	適切な維持管理により持続可能	適切な維持管理により持続可能
	柔軟性	堤防天端は活用できず用地が必要なうえ、高水敷は現状の利用形態との調整を図る必要があり、柔軟性に劣る	堤防天端が活用できるうえ、高水敷は現在未利用地であるため計画の柔軟性は高い	堤防天端は活用できず用地が必要なうえ、高水敷は現状の利用形態との調整を図る必要があり、柔軟性に劣る
	地域社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想への貢献や、水辺のにぎわいによる地域活性化への貢献度は、②案より劣る</li> <li>観光を目的とした車両の増加が想定されることから、確実に誘導する対策が必要</li> <li>施工中は工事車両の通行により周辺地域への影響が想定されるものの影響範囲は限定的と考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元が推進する「歴史資源を活かしたまちづくり」のシンボルのひとつである蓬萊橋と一体的な整備により、地域の構想の実現に貢献できる</li> <li>水辺のにぎわい、地域活性化が図られる</li> <li>観光を目的とした車両の増加が想定されることから、確実に誘導する対策が必要</li> <li>施工中は工事車両の通行により周辺地域への影響が想定されるものの影響範囲は限定的と考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想への貢献や、水辺のにぎわいによる地域活性化への貢献度は、②案より劣る</li> <li>観光を目的とした車両の増加が想定されることから、確実に誘導する対策が必要</li> <li>施工中は工事車両の通行により周辺地域への影響が想定されるものの影響範囲は限定的と考えられる</li> </ul>
環境・景観への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備により現状の自然環境の改変を伴うが、生物利用等に配慮した工法等の採用により、影響は最小にできる</li> <li>特に、歴史的景観等に配慮すべき対象物はない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備により現状の自然環境の改変を伴うが、生物利用等に配慮した工法等の採用により、影響は最小にできる</li> <li>整備にあたり、蓬萊橋の歴史的景観との調和に十分な配慮をする必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備により現状の自然環境の改変を伴うが、生物利用等に配慮した工法等の採用により、影響は最小にできる</li> <li>特に、歴史的景観等に配慮すべき対象物はない</li> </ul>	
総合評価	△	○	△	

- 比較3案に対して、アクセス性、観光機能など8つの評価軸について評価を実施した。
- 総合評価において、最も妥当と考えられる案は「②宝来地区」と評価。

# 大井川環境整備【計画段階評価】

## 5. 対応方針(原案)

### 1. 静岡県の意見

- 本事業は、大井川下流域の歴史的資源である蓬萊橋を活用した一層の観光振興や地域活性化を図るものであり、比較した3案のうち「宝来地区」で実施することが、蓬萊橋の魅力を最も高め、実現性も高く、即効性が期待できると考えられることから、対応方針(原案)に同意します。

なお、歴史的景観と調和する事業となるよう、十分な検討をお願いします。

### 2. 対応方針(原案)

- 比較した3案のうち、蓬萊橋を生かした、川とまちが融合した環境整備にあたっては、観光機能、経済性、地域社会への影響等のそれぞれの面から、「②宝来地区」の整備が最も有利であり、他の評価項目でも当該評価を覆すほどの要素はないため、「②宝来地区」の整備を行うことが妥当と考えられる。

# 大井川環境整備【計画段階評価】 参考資料

【参考資料】: 比較対案として抽出した地点の位置(航空写真)



# 大井川環境整備【計画段階評価】 参考資料

【参考資料】:②宝来地区整備イメージ(拡大図)

